

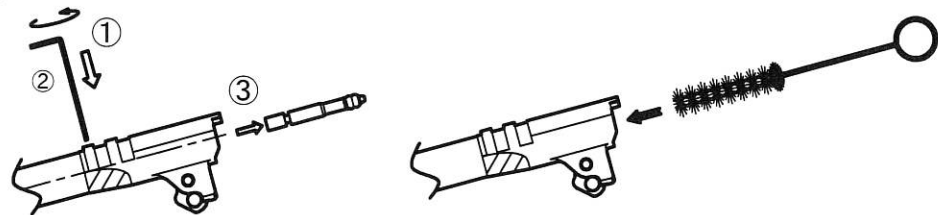
— 撃ち終わった後のクリーニング —

◎ 銃本体

通常分解「フィールドストリッピング」を行ってバレルを外しデトネータを取り出し、水で良く洗って下さい。
分解方法はマニュアルの(分解方法)をご覧ください。

その時水又はぬるま湯に少量の中性洗剤を入れてバレル・チャンバー内・デトネータを洗うとベストです。
その他、スライドの内側・ブリーチ前面・下面・バレルブッシング・リコイルガイド等、又フレーム側のシャシー周りも歯ブラシ等を使って火薬のカスを洗い落して下さい。
バレルはデトネータを外して試験管ブラシの様な物でバレルの内部をキレイにして下さい。

洗い終わった後はキレイな水で良くすすいで下さい。(お湯ですすぐと乾きが早いです。)
良く乾燥させましょう！



乾燥したら、各部に注油してから組立て・保管して下さい。
フロアーの作動不良の原因になるのでマガジンもクリーニング後、注油して下さい。
※乾燥と給油が不完全ですと各部分にサビが出て銃の寿命が短くなります。

～モデルガンのメンテナンスについて～ ”初心者からベテランまで”

撃ってワカル GM-7の真価！



☆快調作動の為に

◎モデルガンは発火させると銃も弾も汚れます。
汚れは作動不良やサビの原因となりますので適宜、クリーニングして下さい。

- ①撃っている途中の銃のクリーニング(図1)
バレル(チャンバー)、デトネータが大変汚れます
2～3マガジン毎又はスライドの閉鎖不良が起こったらバレルの中をクリーニングして下さい。
(銃を分解しないままで可)

汚れ度合い
オープンカート > CPカート

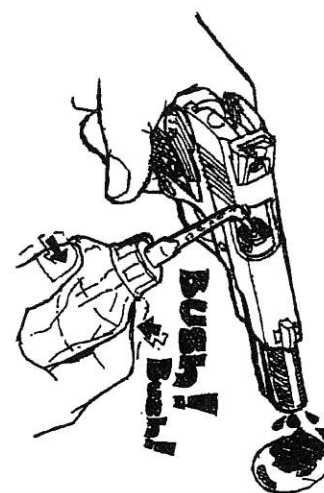
オープンデトネータ方式はCPに比べて汚れやすいので
上記の頻度でクリーニングして下さい。

バレルの簡易クリーニング

- 1、そのまま銃口を下にした状態で、右側のエжекションポートから[ノズルの曲がった小型の洗浄ボトル]等を使ってイラストのように、チャンバー内部とデトネータヘッドに勢い良く水を3～4回吹き付けて下さい。銃口から落ちる汚れた水がキレイになったらバレル内部のクリーニングはオーケーです。
- 2、後はGM-7を良く振って水分を切り、デトネータヘッドの水分も拭き取り、スライドストップを押し込んでスライドを戻せば、クリーニングはOK！

※最低でも3～4回に一回はバレルを銃より外して清掃して下さい。
バレルのクリーニング方法は下記のバレルのクリーニングを見て下さい。

レンチを使ってネジを緩め、デトネータを取り外します。
試験管ブラシ等を使ってバレル内部の汚れをキレイにして下さい。



快調のコツ..... それはメンテナンスを 忘れない事デス！

銃はヨゴれると調子が悪クナルヨ！
良く洗って・良く乾かして・シリコンオイルを
付けてから保管しよう！



オープンカートリッジのセットアップ方法

図1 ケースの中にインナーを入れ、カートリッジの底まできちんと入れた事を確認し、(黄色い箱のMGキャップ)を1粒入れ、キャップローダーを使ってカートリッジの底まで静かに押しして下さい。

！キャップの中の火薬部分に触れると暴発の恐れがありますから絶対に固い物や細い物で押し込まないで下さい。

図2 の様にセットされていればOKです。

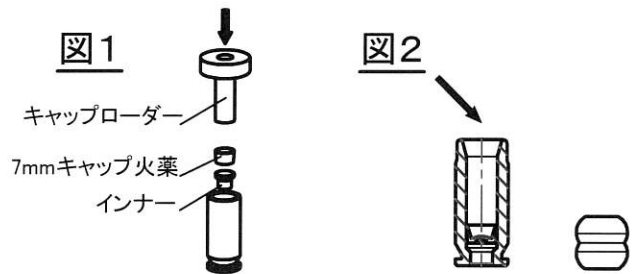


図3 デトネータゴムを交換するときは古いゴムをベンチ等で挟んで取り除き上から新しいデトネータヘッドゴムの広い方を向い合せに入れて下さい。

！最初にカートリッジをお使いになる時には「ブローパケットリートメント」をカートリッジの内側に少量使用してから使って頂く事をお勧め致します。

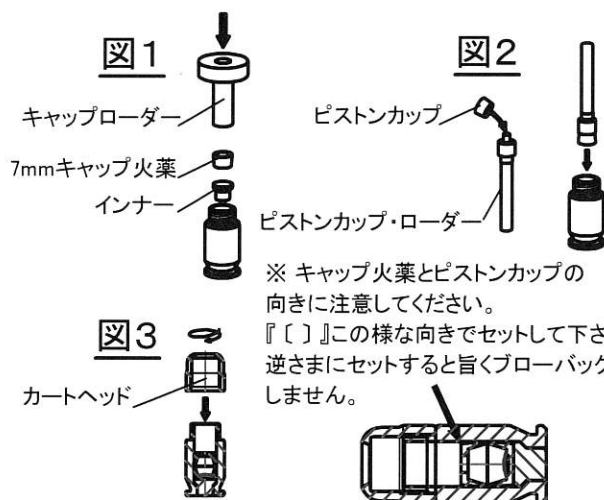
イージーCPカートリッジのセットアップ方法

図1 ケースの中にインナーを入れ、カートリッジの底まできちんと入れた事を確認し、(黄色い箱のMGキャップ)を1粒入れ、キャップローダーを使ってカートリッジの底まで静かに押しして下さい。

！キャップの中の火薬部分に触れると暴発の恐れがありますから絶対に固い物や細い物で押し込まないで下さい。

図2 ピストンカップ・ローダーにピストンカップをセットして火薬を入れたカートリッジに奥まで入れて下さい。

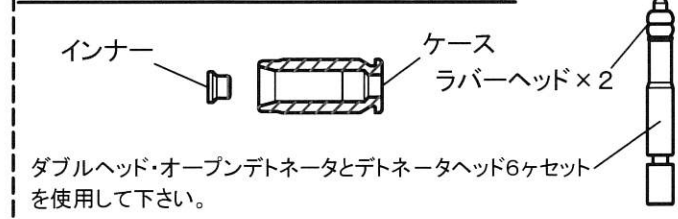
図3 インナー・MGキャップ・ピストンカップを詰めたケースに、ヘッドを取付けてカートリッジのセットアップは完了です。



※キャップ火薬とピストンカップの向きに注意して下さい。『[]』この様な向きでセットして下さい。逆さまにセットすると旨くブローバックしません。

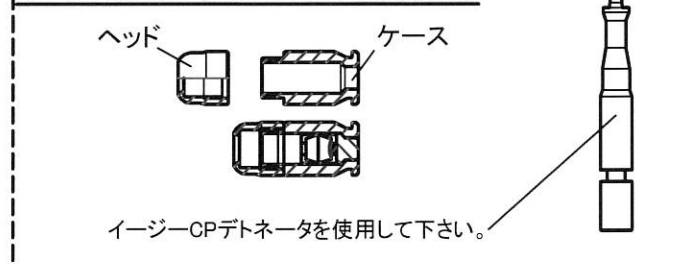
カートリッジの種類

オープン・プラカート・ハードアルマイトカート



ダブルヘッド・オープンデトネータとデトネータヘッド6ヶセットを使用して下さい。

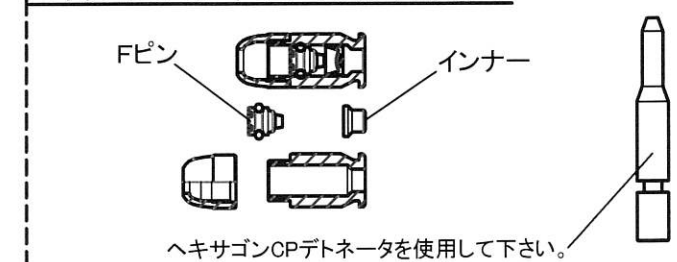
イージーCPカート・ハードアルマイトカート



注意！

アルミカートはアルマイト処理をしていますので、使用後の洗浄には酸性のクリーナーは使用しないで下さい。表面のアルマイトが剥れてしまいます。(サンポール、真鍮用クリーナーなど)

ヘキサゴンCPカート・ハードアルマイトカート



ヘキサゴンCPデトネータを使用して下さい。

ヘキサゴンCP用パーツ

ヘキサゴン・CPデトネータ	¥1,500
ヘキサゴン・CPカート8発入り	¥3,400
ヘキサゴン・CPカート用交換用Fピン(10個)	¥800
Fピン用Oリング50個セット	¥800

オープンデトネータ用パーツ

ダブルヘッド・オープンデトネータ	¥1,800
オープン ハードアルマイトカートリッジ8発入り	¥2,800
オープンプラカートリッジ50発入り	¥3,400
ダブルヘッドデトネータ交換用ラバーヘッド6個	¥1,000
ブローパケットリートメント	¥500

イージーCPカート用パーツ

イージーCPハードアルマイトカート8発入り	¥3,400
EASY-CPカート用ピストンカップ100個入り	¥400

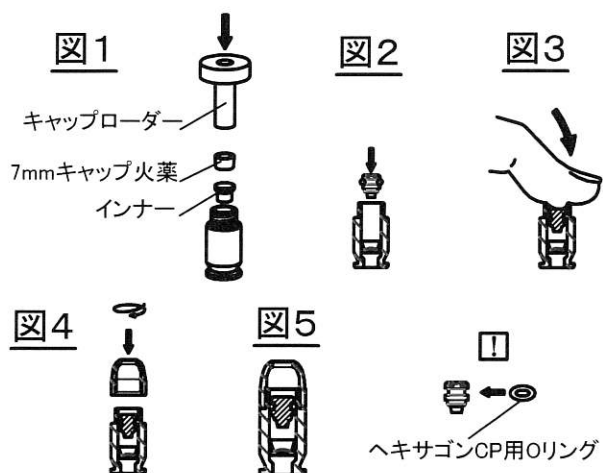
ヘキサゴンCPカートリッジのセットアップ方法

図1 ケースの中にインナーを入れ、カートリッジの底まできちんと入れた事を確認し、(黄色い箱のMGキャップ)を1粒入れ、キャップローダーを使ってカートリッジの底まで静かに押しして下さい。

！キャップの中の火薬部分に触れると暴発の恐れがありますから絶対に固い物や細い物で押し込まないで下さい。

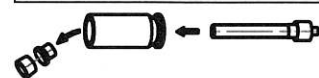
図2 ピンにOリングが正しく付いているのを確認して火薬をセットしたカートリッジに上から入れて図3の様に指で軽く押し込んで下さい。

図4 Fピンをセットしたカートリッジにカートヘッド取付けてください。図5 の様にセットされていればOKです。



！ヘキサゴンCPカートリッジは何回か使用すると「Fピン」のOリングが磨耗して来ます。その場合は別売の「ヘキサゴンCP用Oリングセット」を購入し、交換して下さい。

使用済みカートの取り扱い



！カートを再使用する時は、ピストンカップローダーの細い方でインナーごと後ろからキャップ火薬のカラを押し出して新しい火薬と入れ替えてご使用下さい。カートボディは2～3回に一度は水で洗ってから使用して下さい。カートにオイル分が付着している場合には水に中性洗剤を少量混ぜてお使い下さい。(ヨゴレもより落ち易くなります。)

カートリッジのヘッドを外し、ケース内部がキレイにクリーニングされている事を確かめてから、火薬をつめる前にケースの中に薄くオイルを塗るか、ガンオイルをサッと吹き込んで下さい。

『ご注意！』

使用後のカートリッジのケース内部は、キャップ火薬の燃えカスが残っていると、不発の原因となりますから、水に浸した後、ブラシ等で内面に付いた火薬のヨゴレをキレイに洗い落として下さい。

各カートリッジは使用後、必ずインナーパーツを取り出して清掃した後、保管して下さい。汚れたまま放置しますとカートの寿命が短くなるばかりか銃を傷める場合があります。

『キャップ火薬について』

使用するキャップ火薬は、デトネータブローバック専用の[黄色い箱のMG CAP]に限定してご使用下さい。

！特に“R”タイプや“リボルバー用”のキャップ火薬には火炎用の酸化鉄粉が入っていて、これがデトネータを削って作動不良となりますから、絶対に使用しないで下さい。

！ピストンカップはキャップ火薬と同様に再使用出来ません。

注、弾の飛ばないモデルガンといえども、銃口からキャップ火薬の排煙が噴き出しスライドの右後側へはカートリッジが勢い良く飛び出しますから、銃口方向とカートリッジの飛び方向には人がいない事を確認してから引き金を引くように注意して下さい。

— 補足、メンテナンスに付きまして —

当社のGM7は基本面倒なメンテナンスを必要としませんが、以下の事柄にはご注意下さい。

※銃を使用後、銃本体/バレル/カートリッジの洗浄は、こまめに行ってください。カートリッジ内面が汚れていると、デトネータ・ゴムが破損し不調の原因となります。洗浄後、デトネータ・ゴムには給油をしないで下さい。(発火後、カーボンが溜まり不調の原因となります。)

※カートリッジやインナーの洗浄に洗剤をお使いになる場合は必ずぬるま湯に少量の中性洗剤を入れた物をお使い下さい。漂白剤や酸性の洗剤をお使いになりますと、表面が荒れて使用不能となる場合があります。H/W材は、時間の経過と共に黒くなっていきます。また手脂の付着や火薬の発火後放置していると同様に黒くなっていきます。その為本体も同じ様に洗浄して下さい

洗浄後は直ぐに水気を拭き取った後、乾燥させてから組み立てて下さい。表面の“黒さ”は、スコッチブライト等で擦ると取れます。

※デトネータ・ゴムは使用条件により、寿命が短くなる場合があります。

※発火時に火薬のキャップ部分がカートより抜け落ちる場合がありますが、これは故障では有りません。

※本製品は発火作動を前提に調整されています。ダミーカート等、手での作動に付きましては発火作動時と違う場合があります。